



● Bコース 鳥の声

㊤-1 カッコウ

㊤-2 アオバズク

㊤-3 ヒバリ

㊤-4 オオヨシキリ

声をたよりに鳥を探してみましよう。

鳥たちがいるということは、鳥たちの食べ物となる昆虫など動物や植物があるということです。そして、巣をかけた隠れ家となるような、多様な自然があるということでもあります。つまり、鳥を探すというのは、そこにどんな自然があるのか知ることなのです。しかし、体が小さく動きも素早い鳥たちを見つけるのはなかなか大変です。

そこで声をたよりに探すことにしましょう。ヒバリ、アオバズク、カッコウ、オオヨシキリ、どれも特徴のある、遠くまでとどく声で鳴いています。

鳥たちの繁殖期の5月、6月。畑や河原でヒバリやオオヨシキリの声がしないか。林が多い所ならカッコウが鳴いていないか。夜、神社の森や山の方からアオバズクの声が聞こえてこないか。耳をすませてみましょう。

どんな声で鳴くのかは、テレホンサービスで紹介する予定です。詳しくは、追ってお知らせします。



カッコウ

● *Cuculus canorus telephonus*

■かたちと大きさ

全長35cm。ハトと同じくらいの大きさの、青灰色の鳥。お腹は白く、黒の横縞しまがあり、尾が長いのでスマートに見える。

■見られる場所

農耕地や高原などで、草原のような開けた場所と林が交互に現れるような場所を好む。関東では平地にも多いが、西日本では高原以外では少なくなる。

■くらし

九州以北に、5月下旬にやって来る夏鳥。昆虫が主食で、サクラについた毛虫を食べているのを見ることもある。親鳥は雛ひなを自分では育てず、モズ、ホオジロ、オオヨシキリなどの巣に卵を産み育てさせる。これらの鳥が少ない場所ではオナガに預けることもある。

縄張りは広く、数キロメートル四方に及ぶこともあり、「カッコウ、カッコウ」と大きな声で、飛びながら、あるいは木の梢や電柱、電線でさえずる。



■おもな分布地

九州以北の日本全土。

■見つけ方・見分け方

5月下旬～6月にかけてよくさえずるので、姿ではなく、声をたよりに探そう。声を追いかけて行けば、木の頂や電線に止まっているのを見つけることができる。

時報の代わりに声を放送していることなどもあるので、注意が必要。





アオバズク

● *Ninox scutulata japonica*

■かたちと大きさ

全長29cm、ハトより少し小さいフクロウ。胸からお腹にかけてがまだらになっている以外は全身黒褐色。アオバズクというのは、色ではなく青葉の茂る頃やって来るフクロウという意味。

■見られる場所

平地から山地の林で、神社やお寺の比較的小さな林でも洞のある大木があればいることがある。

■くらし

4～5月頃やって来て、木の洞に巣を作る。夜間、ガや甲虫など昆虫を捕まえて食べる。街灯に集まる昆虫をねらって、街なかに現れることもある。夜、枯れ枝やテレビアンテナの上で、「ホウ、ホウ」という、いわゆるフクロウの声で鳴く。

■おもな分布地

日本全国で繁殖する。

■見つけ方・見分け方

夜、鳴き声をたよりに探してみよう。



また、神社の森などで太くて幹に穴のあいている木があったら、日中に枝を丹念に探せば、止まっているのが見つかるかもしれない。





ヒバリ

● *Alauda arvensis japonica*



■かたちと大きさ

全長17cm。尾が長めの、スズメより少し大きめの鳥。

色はスズメより少し薄い黄褐色だが模様は良く似ている。頭の羽毛を立てていることがある。

■見られる場所

広々とした場所で、草はあまり高くない所を好む。畑や河原、グラウンドのような所を注意してみよう。

■くらし

雪のある所では雪解け後、そうでない所では3月頃からさえずりはじめる。巣は地上の草の間に作り、昆虫や草の種子を食べる。

さえずりは、空の高い所で一点に留まり「ピーチュク、ピーチュク」と長く鳴き続ける。草原のなかにある電柱

のてっぺんでさえずっていることもある。

■おもな分布地

九州以北で繁殖する。東北、北海道など雪のある所では夏鳥、その他では留鳥。

■見つけ方・見分け方

空の上から聞こえて来るさえずりに注意しよう。草原を歩いていると地上から飛び出すことも多い。その時には「ピロロッ」とか「ビルルッ」という声を出し、飛び出す時に尾羽の両わきの白い羽が目立つ。





オオヨシキリ

● *Acrocephalus arundinaceus orientalis*

■かたちと大きさ

全長18cmのスズメより大きめの鳥。背中は黄褐色で、目の上に白線がある。さえずっている時には、口の中の赤が目立つ。

■見られる場所

ヨシ原のある湿地や水辺。

■くらし

5月初旬にやって来て、ヨシの頂やヨシ原近くの木の頂でさえずる。声は、「ギョギョシ、ギョギョシ、ケケケケ」などと聞こえるにぎやかなもの。巣はヨシの茎を支えにして作り、昆虫を食べる。



■おもな分布地

九州以北の全国。

■見つけ方・見分け方

ヨシ原を見かけたら耳をすませてみよう。声が出たらその方角のヨシの頂や、木の頂、電線など目立つ所を探そう。姿を見ることもできるだろう。

本州中部の高原や北海道など冷涼な所ではよく似たコヨシキリという鳥がいる。コヨシキリは声が細く、目の上の白線の上に黒い線があることで区別できる。

